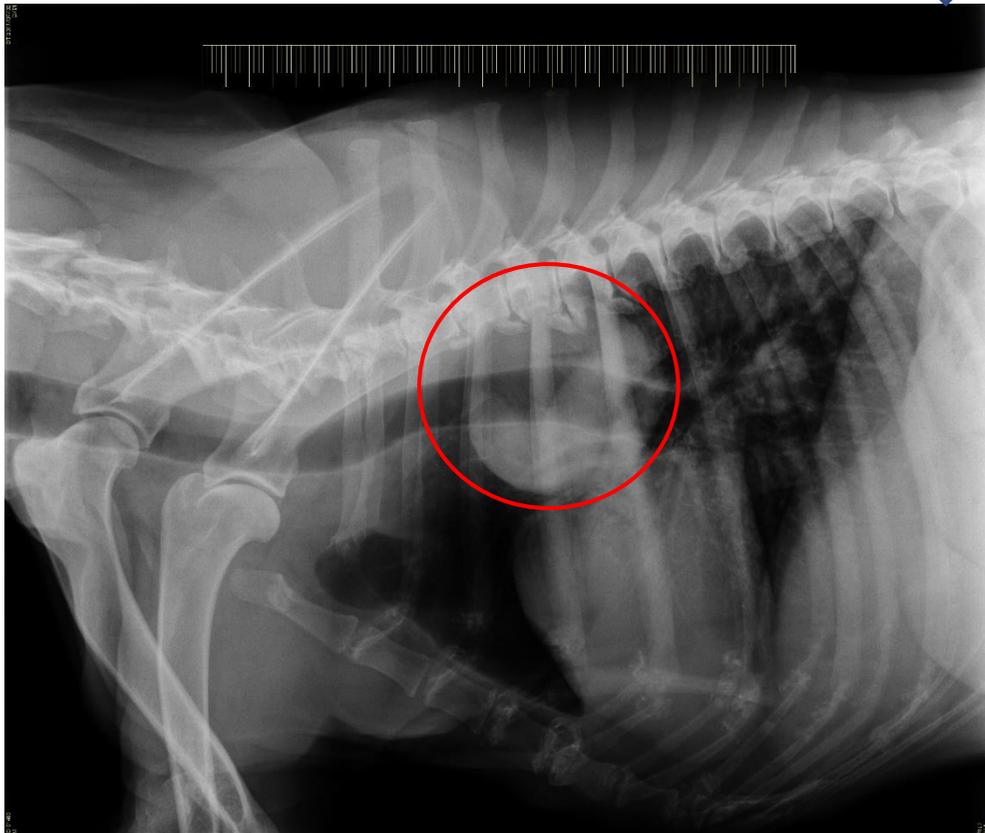


肺腫瘍（犬）

- ▶ ラージムーンスターレンダー、13歳、♂
- ▶ 主訴：咳が1ヶ月ほど続く
- ▶ 臨床症状：発咳
- ▶ 経過
 - ・2017/7/2：X線にて右肺にMASSを確認



肺腫瘍（犬）

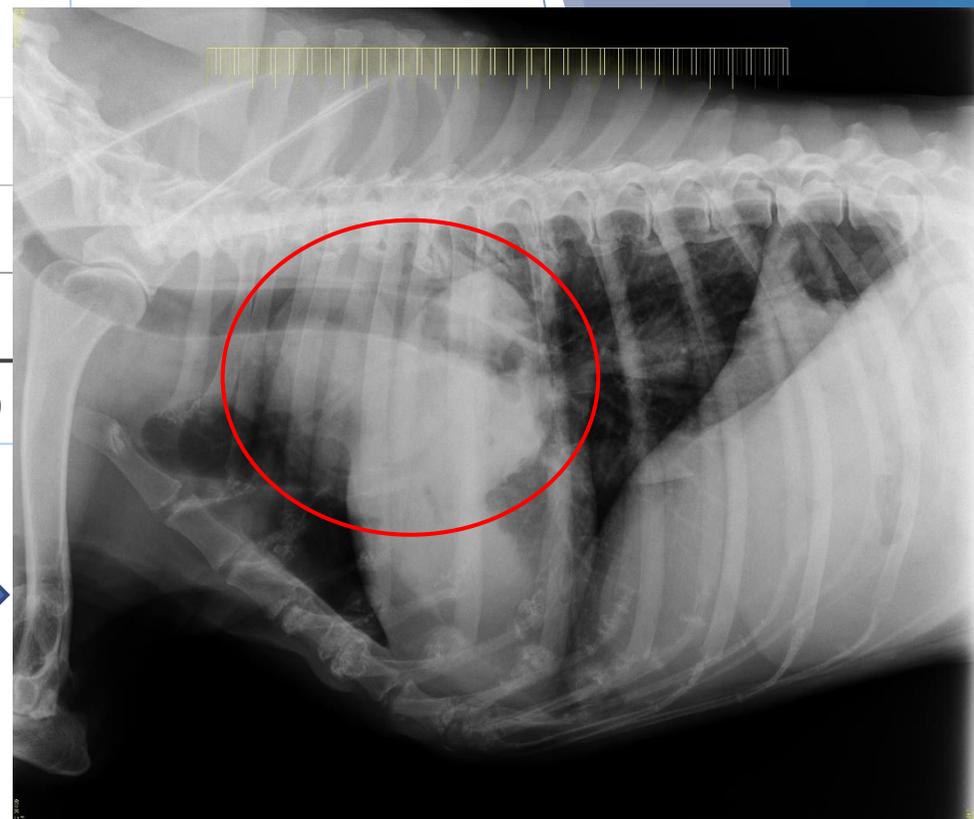
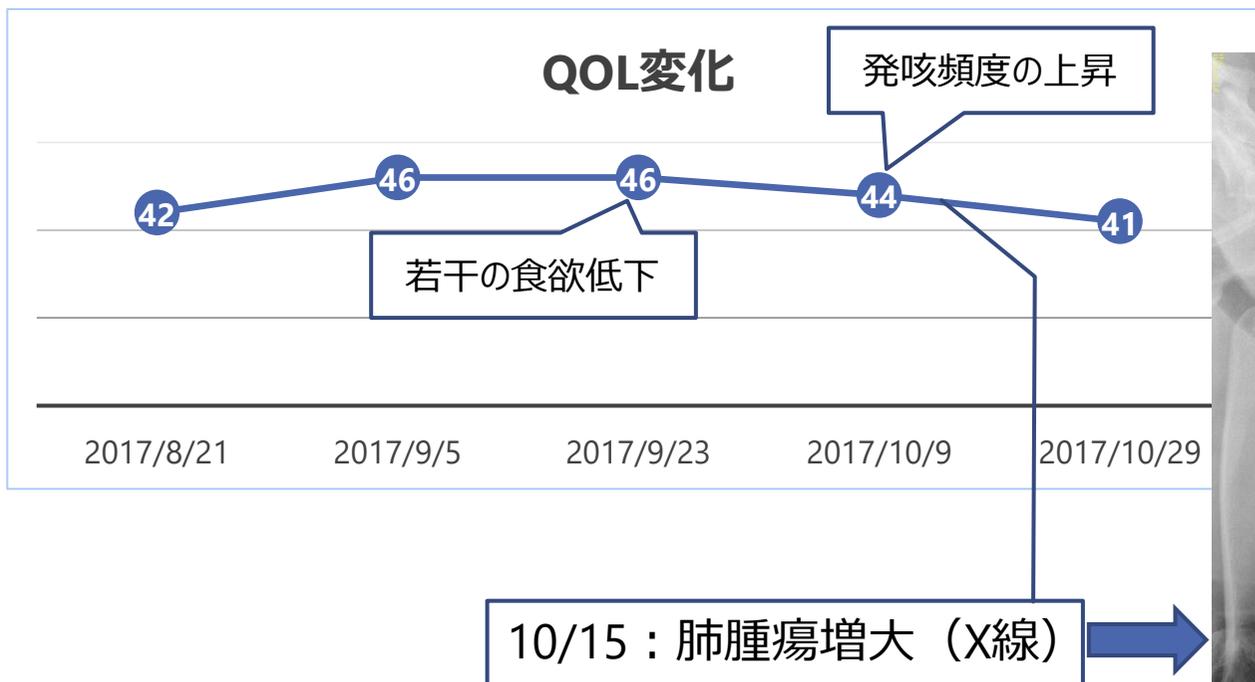
▶ 経過

- 2017/8/21 : CAT療法開始
- 計5回のCAT投与を実施 : 平均CAT投与量 12.6×10^7 cells
- 投与日 : 2017/8/21、9/5、9/23、10/9、10/29
- 併用治療 : ピモベンダン (0.22mg/kg BID (2017/7/2~11/9))
インタードッグ (1万単位/kg、週3回を4週間、
その後週1回を4週間 (2017/7/22~2017/9/18))
リンパクトデリタブ (1日3粒、(2017/7/12~11/9))
- 2017/11/9 : 深夜に吐血し、対症療法処置
(救急病院受診)
- 2017/11/13 : 死亡 (吐血後は起立困難であった)

2017/9/2 : 胸部X線画像



肺腫瘍（犬）



▶ 獣医師コメント

- ・一時、QOLの向上が認められたが食欲低下、体重減少に伴い発咳頻度も上昇していった
- ・発咳頻度の上昇に伴ってQOLは低下していった
- ・本症例では肺腫瘍に対してCAT療法を行ったが、比較検討するデータが少ないため、CAT療法の効果についてはデータ集積を行い検討していく必要がある